

人のうごき

令和3年7月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

岡部 ^{みなぎ} 湊希 ^{ちゃん} (裕祈・恵) 南4の1

おくやみ

今 勢二さん 73歳 寿町
秋元 實さん 85歳 栄町
畠山 豊司さん 90歳 天売
岩井 朝雄さん 86歳 朝日
實川 義光さん 94歳 北2の2
佐藤 知識さん 14歳 南5の4
高橋 茂男さん 89歳 栄町
中尾 スミ子さん 89歳 栄町
立野 ヒサさん 92歳 北大通1
中佐 ミチ子さん 91歳 南1の2

人口と世帯数(7月末)

人口	6,582人	(-14)
男	3,153人	(-9)
女	3,429人	(-5)
世帯数	3,499世帯	(-9)

()は前月比

※広報はぼろ7月号の訂正について

広報はぼろ7月号裏表紙の人のうごき(ごけっこん)の氏名表記に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに次のとおり訂正します。

(誤) 佐藤 蔵治さん 佐藤 彩香さん 南町

(正) 佐藤 蔵治さん 柴田 彩香さん 南町



Dr. 佐々尾の健康カルテ

新型コロナワクチン接種は、羽幌病院と加藤病院の医療提供体制の継続、羽幌病院ではコロナ感染症の受入、ワクチンの供給状況、国の方針(7月末までに65歳以上、11月までに全国民に接種)など、すべてを満たしながら行わなければならない、住民の皆様には様々な御意見があるものと思います。接種に対応できる日数が限られ、その中で最大限の方の接種が行えるように、被接種者の動線はできる限り短く、そして医療従事者が動いて接種するという方法をとるなどしています。引き続き御理解のほどお願いいたします。現時点では希望者の7割以上の方が初回接種を終えている状況です。高齢者は対象者の9割以上の方に接種していただいているようです。64歳以下では、高齢者と比較すると低調だったようですが、多くの方に申し込んでいただいたようです。

当初と比較しワクチンに関する知見が増えています。現在流行するデルタ株をはじめ変異株にワクチンが有効か否かという点が問題になっていますが、科学的に証明はできていないものの、ワクチン接種が進む国では感染者は増加しても重症者は増加していないようで、少なくともこれでワクチンを忌避する理由にはならないようです。ワクチン接種後の発症者が他者へ感染させる確率は低いこと、接種が進む地域では感染率が低いことなどから、集団免疫の効果も示されつつあります。誤解されている点として、インフルエンザワクチンと同様に重症化を予防するだけと思われがちですが、今回のワクチンは有効率が高く(インフルエンザの2倍)、感染予防に意義があることが報告されています。

変異株では若い方が重症化するなど、従来と傾向が変わってきている点は気になります。このウイルスは「かきこいウイルス」と言われ、私たち人間の隙を突いてきます。とくにいまは、ワクチン未接種者を契機としたクラスターの報告が相次いで報告されています。ワクチン接種済み(2回目接種から2週間経過)の方でも感染する可能性はあり油断してはいけませんが、その他の方は適切な感染対策の継続をお願いします。

接種を申込み忘れた方はすこやか健康センター(☎62-6020)にお問い合わせください。ワクチン接種に不安がある方は、北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター(☎0120-306-154)のほか、当院に相談いただければ、医師が電話診療で対応することも可能です。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

